

歌舞伎症候群について

① どうして歌舞伎症候群と呼ぶの??

- ・ 1981年に日本の2人の先生によりはじめて論文紹介されました。
- ・ 最初は発見者の名前から『新川黒木症候群』と命名されました。
- ・ 特徴の1つである「切れ長の目」が歌舞伎役者の「隈取(くまどり)」に似ていることから『歌舞伎症候群』や『歌舞伎メーカーキャップ症候群』と呼ばれるようになりました。
- ・ 英文表記においても”Kabuki Syndrome”とされています。
- ・ 歌舞伎症候群の分類はICD-10ではQ87.0 OMIMでは147920 となっています。

② 歌舞伎症候群の原因と診断方法は??

- ・ 2010年に発表された原因究明の論文によると「歌舞伎症候群患者の70%にMML2遺伝子(12番染色体q12-14)に変異がある。」としています。
- ・ 変異の説明 塩基の並び方が突然変異により替り、アミノ酸の生成が中断される。
- ・ 遺伝子診断による病名確定は70%程度であるため、現在は次の5つの症状のうち、4つに当てはまれば『歌舞伎症候群』と診断されるようです。
 - ①特異な顔貌(長いまぶたの裂け目、口蓋裂/口唇裂、アーチ形の口蓋 など)
 - ②骨格異常(脊柱側弯症、短い第5の指)
 - ③皮膚紋理異常(指尖部の隆起、小指の関節のしわが一重 など)
 - ④精神遅滞(知的障害)(軽度～重度)
 - ⑤平均より低い身長(-2SD程度の成長障害)
- ・ 原因はまだ発見されたばかりで、影響等については解明中です。

③ 歌舞伎症候群の障害などの特徴を教えてください。

- ・ 上記の①～⑤のほか、難聴、欠歯、心臓血管の異常などがありますが、個人によってかなり差があるようです。

④ 世界でどれくらいの歌舞伎症候群の方がいるの??

- ・ 発生確率は1/32,000とされています。
- ・ この確立であればかなりの人数になるのですが、わかっている範囲で、国内で数百人。先進国でも合わせて2,000～3,000人ではないかといわれています。
- ・ 歌舞伎症候群は障害の程度が軽度～重度にわたり、軽度の場合、気がつかないこともあります。